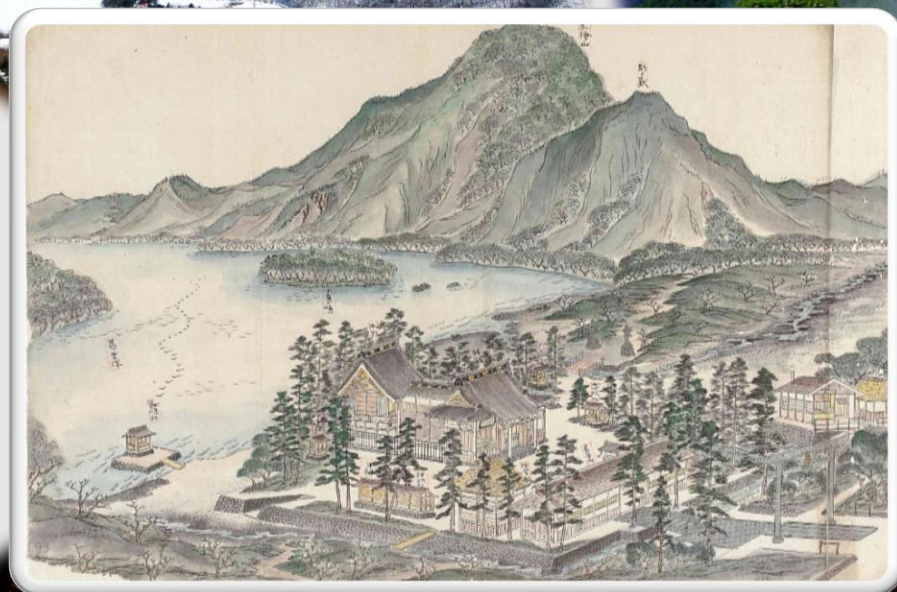
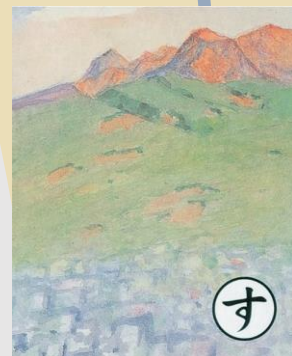


「古社寺調」（国指定重要文化財絵図） ～赤城神社が見つめてきた大沼湖畔～

上毛三山の一つである赤城山は、古くから信仰の対象であり、豊かな自然環境を有した、伸びやかな裾野を持つ群馬県の象徴とも言える名山です。大沼や小沼、覚満淵などの山頂エリアには、かつて幸田露伴や志賀直哉をはじめとする多くの文豪が滞在しました。

また、昭和10年（1935）には県立公園にも指定され、現在に至っています。公園内にはビジターセンターやキャンプ場、牧場などの施設があり、休日には県内外から大勢の人たちが訪れます。



古社寺調 赤城神社 A0181A0M 2316 ⅞ 国重文（明治29年）
春：GS20160543「グラフぐんま 第587号」（平成28年）
夏：GS20140445「グラフぐんま 第559号」（平成25年）
秋：GS20190412「グラフぐんま 第618号」（令和元年）
冬：GS20190405「グラフぐんま 第611号」（平成31年）
上毛かるた 絵札「裾野は長し赤城山」

